



ID: 1263

科目名	スポーツ社会学【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	岡部 祐介			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	前期		単位数	2	
授業形態	講義	授業形式			履修形態	選択	
授業概要							
講義の前半では、スポーツ社会学が射程にすえる課題について紹介し、社会的なとらえ方を理解する。後半では、現在進行形で問題となっているスポーツ現象について社会的な視点から分析を行う。それらを通して、各自、テーマを設定し、資料収集およびレジュメの作成、発表を行う。							
到達目標							
・スポーツ社会学の課題について理解できる。・スポーツの諸問題について社会的な視点から考えることができる。・テーマを選定し、資料収集及びレジュメの作成、発表することができる。							
授業計画							
第1回	スポーツ社会学の必要性(社会の中のスポーツ)						
第2回	スポーツの概念と歴史						
第3回	スポーツの社会的理解① スポーツをどのように捉え、考えるか。(文化としてのスポーツ)						
第4回	スポーツの社会的理解② スポーツ社会学の課題(人種, 暴力, 性, 人権, 流行)						
第5回	スポーツの社会的理解③ スポーツ社会学の課題(イデオロギー, 生涯スポーツ)						
第6回	スポーツの社会的理解④ スポーツ社会学の課題(アマチュアリズム, オリンピック, プロスポーツ, 障害者とスポーツ, パラリンピック)						
第7回	現代スポーツを読み解く① メディアとスポーツー新聞記事にみられるスポーツ①ー						
第8回	現代スポーツを読み解く② メディアとスポーツー新聞記事にみられるスポーツ②ー						
第9回	現代スポーツを読み解く③ メディアとスポーツースポーツ雑誌の変遷ー						
第10回	現代スポーツを読み解く④ メディアとスポーツー映画のなかのスポーツ①ー						
第11回	現代スポーツを読み解く⑤ メディアとスポーツー映画のなかのスポーツ②ー						
第12回	各自でテーマを選定, 資料収集およびレジュメの作成①						
第13回	各自でテーマを選定, 資料収集およびレジュメの作成②						
第14回	プレゼンテーション						
第15回	まとめ これまでの講義の総括および最新のスポーツ社会学の動向を紹介						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
出席・態度や毎授業時に実施する小レポートによる平常点(50点)および定期試験(50点)による総合評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10	10	50	
授業外学習			テキスト、教材				
なし			適宜, 配布。				
参考書			受講生へのメッセージ				
森川貞夫・佐伯聰夫編(1988), 『スポーツ社会学講義』, 大修館書店 亀山佳明編(1990), 『スポーツの社会学』, 世界思想社			身近なスポーツの抱える問題を社会学の視点から読み解いてみませんか。後半は、各自の問題意識をまとめ、プレゼンを行います。積極的な取り組みを期待しています。				
キーワード							
スポーツリーダー認定書および共通科目Ⅰ・Ⅱ修了証明書(財団法人日本体育協会認定)を取得に必要科目							